

平成 30 年度 地域づくり部会 検討状況報告書

平成 31 年 2 月 12 日 更新

部会構成メンバー	
・福祉課障害支援係（長谷川、目黒、伊野、薙澤） ㊦地域生活支援センターサンスマイル 疋田 ㊦障がい者支援センターあさひ 松崎 ㊦障害者基幹相談支援センター（両田、山村、石黒、五十嵐） ※敬称略 ㊦…事務局	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 30 年 6 月 12 日	・今年度の活動方針（案）の決定 ・今年度の具体的取り組み内容、スケジュールの検討、決定
【第 2 回】 平成 30 年 7 月 10 日	・今年度の活動方針・年間スケジュールについて ・社会福祉法人中越福祉会 ながおかホームの状況について ・「緊急時の受入・対応」に関するアンケート調査の内容について
【第 3 回】 平成 30 年 8 月 7 日	・アンケートの内容について ・調査方法について
【第 4 回】 平成 30 年 10 月 9 日	・今年度の課題の共有（改めて調査の目的を確認） ・緊急時対応に関する実態調査の結果について ・実態調査の結果を踏まえて検討
【第 5 回】 平成 30 年 11 月 15 日	・「緊急時の受け入れ・対応」機能について
【第 6 回】 平成 30 年 12 月 11 日	・フローチャートの素案について ・部会としての「緊急時の受け入れ・対応」機能のまとめ
【第 7 回】 平成 30 年 1 月 8 日	・「地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のための都道府県ブロック会議」の報告 ・今年度の振り返り・評価について ・来年度の方向性について
【第 8 回】 平成 31 年 2 月 12 日	・来年度の方向性・取組について
取組 今年度の 方針	【方針】 ・地域生活支援拠点等の整備における 5 つの機能の検討・検証を行う。
	【具体的取り組み】 ・地域生活支援拠点等の整備に必要な 5 つの機能について、優先順位を踏まえて、年次計画に基づいて検討・取組を行う。 主に検討する機能の優先順位を①「緊急時の受け入れ・対応」、②「人材の確保・育成」、③「体験の機会のある場」として検討を継続。 →必要な機能の検討・検証（地域分析（地域診断）、社会資源の確認・評価、地域ニーズ・課題の共有等）を実施する。 ・「相談」、「地域の体制づくり」については、相談体制部会と連動して検討を行う。

【第1回】

- ・年間スケジュール、調査内容、実施について検討した。
- ・地域生活支援拠点等について実態調査のために、拠点機能を有する「ながおかホーム」(中越福祉会)のビジョンを確認していく事とする。

【第2回】

- ・今年度の活動方針・年間スケジュールについて再確認を行った。
- ・社会福祉法人中越福祉会「ながおかホーム」について、小林さんから報告をしてもらい、状況確認を行った。
- ・「緊急時の受入・対応」に関するアンケート調査の内容について、障害支援係で作成したアンケート調査票(案)を元に、調査方法等を検討した。

【第3回】

- ・アンケート内容の確認。緊急時の定義や事業所、相談支援事業所の実態把握を適切に行うためのアンケート作成の協議。
- ・地域生活支援拠点等の理解を図るための説明や部会の取り組みについての説明について検討。
- ・アンケート後に結果を受け、当事者への聞き取りを行う事についての検討。

【第4回】

- ・昨年度の部会のまとめから、緊急時の受入・対応に関する現状と課題、必要な取組、平成30年度以降のスケジュールを改めて確認した。
- ・緊急時対応に関する実態調査の結果について確認し、結果を踏まえて検討した。

【第5回】

- ・運営会議で出た意見の確認。
- ・実態調査のまとめについて検討、緊急対応受け入れのフローチャート(案)を作成し、体制の確認を次回地域作り部会で確認をする。
- ・フローチャートには24コールセンターの役割や法人との協定などを示し、理想とする体制を作成する。

【第6回】

- ・フローチャートの素案を確認し、フローチャートの各場面において、追加が必要な項目や、さらに検討が必要なこと等を共有した。
- ・「緊急時の対応・受け入れ」機能については、今後は関係者から意見をもらいながら、市が主導となって検討を進めていく。

【第7回】

- ・「地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のための都道府県ブロック会議」に出席した報告があり、他市町村の整備状況等をメンバーで共有した。
- ・今年度の振り返り・評価を行った。
- ・来年度の部会の取組として、「専門的人材の確保・養成」、「体験の機会・場」機能を検討することとし、次回の部会で具体的な方向性をつめることとした。

	<p>【第8回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「専門的人材の確保・養成」、「体験の機会・場」機能について、まずは現状把握をきちんと行うこととした。現状把握にはある程度時間をかけて行う必要があることから、単年度で2つの機能を検討することは困難なため、来年度は、部会を2班に分けて実施し、各機能について検討することとした（検討状況等は常に共有する）。
<p>今後の検討の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の部会は終了。 ・来年度は速やかに部会を開催する。
<p>運営会議への 伝達事項等</p>	